

令和元年度第7回 医学系研究倫理審査委員会議事要旨

I 日 時 令和元年10月21日(月) 14:55~15:10

II 場 所 管理棟 3階 大会議室

III. 出席者 藤枝委員長、秋野委員長代理、松岡委員、青木委員、重見委員、稲谷委員、西村委員、後藤委員、大北委員、小林委員(総務管理課長)、清水委員(医療サービス課長)、岩佐委員(弁護士)、木元委員(福井県立大学)、草桶委員、山川委員(しらゆり会)

欠席者 上野委員、酒井委員

事務局側 (運営管理課) 喜多山補佐、野尻主査、入澤主任、藤嶋係員、山本事務補佐員
(総務管理課) 高橋主査、村田主任
(医学研究支援センター) 坂下講師、渡辺技術補佐員

IV 議 題

1 前回議事要旨の確認

9月30日に開催した第6回倫理審査委員会の議事要旨(案)を承認した。

2 審 議 事 項

(1) 令和元年度の継続審査について(実施状況報告書) 資料 No. 1

事務局から、今回提出のあった58件について特に問題なく研究が進められている旨の報告があり、審議の結果、研究の継続を承認することとした。

3 報 告 事 項

(1) 迅速審査結果について 資料 No. 2

事務局から、8月26日~10月1日に実施した迅速審査26件について承認した旨の報告があった。

(2) 終了報告書について 資料 No. 3

事務局から、終了報告書の提出があった3件について報告があった。

4 その他

・事務局から、前回の委員会で報告した検体紛失の件について、席上配布資料に基づき報告があった。

前回の委員会で、「検体を提供した患者に説明と謝罪を行うべき」との指摘を踏まえ、対象者に説明と謝罪を行い、対応が完了したことが報告された。

・事務局から、「閉鎖的空間における疑似天窓装置及びプロジェクターを用いた解放感向上に関する研究」について、報告があった。

前回の委員会で「患者の映り込みや行動観察について、法的な観点から問題が生じる可能性がある」との指摘を受けたことから、録画と行動観察は実施せず、匿名のアンケートだけ実施することとし、変更申請による迅速審査により、承認されたことが報告された。